

工 事 番 号							
設計年度	令和 6 年度	和田処理分区污水管新設工事 (6-1) 公共下水道事業 三原市和田三丁目				仕様書  <b>仕 様 書</b>	
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 路線延長 (污水単独) L=7.5m</li> <li>管体延長 (開削) φ150 L=6.9m</li> <li>付帯工 一式</li> </ul>							

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市和田三丁目 公共下水道事業 和田処理分区污水管新設工事（6-1）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - ・土木工事共通仕様書 令和5年8月 広島版  
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
  - ・下水道土木工事必携(案) 2021年度 公益社団法人日本下水道協会
  - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
  - ・その他関連規格類

### 第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

### 第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

### 第4節 検査

土木工事共通仕様書（令和5年8月広島版）『第3編 1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

### 第5節 週休2日工事等

本工事は、週休2日工事の対象外とする。

### 第6節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

## 第7節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

## 第8節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
  - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
  - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
  - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

## 第2章 施工条件

### 第1節 工 程

#### 1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物（水道管などの埋設物あり）
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）
移設時期	必要に応じて、別途協議するものとする。
提出書類	「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

### 第2節 用 地

- 1 借 地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

### 第3節 公害対策

#### 1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容	柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
範囲	別途協議による。

#### 第4節 安全対策

##### 1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は、開削工事1（人/日）を見込んでいる。

#### 第5節 工事用道路

##### 1 一般道路

搬入経路	特に指定しない。
使用期間	工事施工期間
使用時間	8時30分～17時
工事中・後の処置	随時 清掃、 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

#### 第6節 建設副産物

##### 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 株式会社アヴァンセ沼田東町納所残土処分地（三原市沼田東町納所 426）

なお、工事発生後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

##### 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において 300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所

を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

#### 第7節 仮設工

湧水等により、見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は、任意仮設についても設計変更することができる。

ただし、変更しようとする者は、見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに、適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し、監督員と協議すること。

#### 第8節 管内テレビカメラ調査

管内テレビカメラ調査については、下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）（平成25年6月社団法人日本下水道協会）を準拠し実施すること。

#### 第9節 その他

##### 1 工事中機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない
保管方法	指定しない

### 第3章 設計金額

#### 第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和5年8月広島版）『第1編 1-1-32 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

### 第4章 第1節 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

## 第2節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

## 第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等(以下「工事損失」という。)が発生した場合には、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- |              |   |
|--------------|---|
| (1) 原因調査     | 監督員と協力して行なうものとする。                             |
| (2) 補償交渉     | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。                         |
| (3) 応急処置     | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| (4) 補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。   |

## 第6章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。  
また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

# 工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
管路施設(開削工法)		式	1	レベル1
管きよ工(開削)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
管布設工		式	1	レベル3
硬質塩化ビニル管	【φ150】	m	6.9	レベル4
埋設標識テープ		m	6.9	レベル4
管基礎工		式	1	レベル3
砂基礎		m	1	レベル4
開削水替工		式	1	レベル3
開削水替		式	1	レベル4
マンホール工		式	1	レベル2
小型マンホール工		式	1	レベル3
小型マンホール(塩化ビニル製)		箇所	1	レベル4
取付管およびます工		式	1	レベル2

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
ます設置工		式	1	レベル3
ます(塩化ビニル製)		箇所	2	レベル4
取付管布設工		式	1	レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)		式	1	レベル4
付帯工		式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	27	レベル4
舗装版破碎(小規模)		m <sup>2</sup>	27	レベル4
殻運搬処理		m <sup>3</sup>	2	レベル4
舗装復旧工		式	1	レベル3
不陸整正		m <sup>2</sup>	11	レベル4
下層路盤(歩道部)		m <sup>2</sup>	10	レベル4
コンクリート舗装		m <sup>3</sup>	2	レベル4
舗装仮復旧工		式	1	レベル3

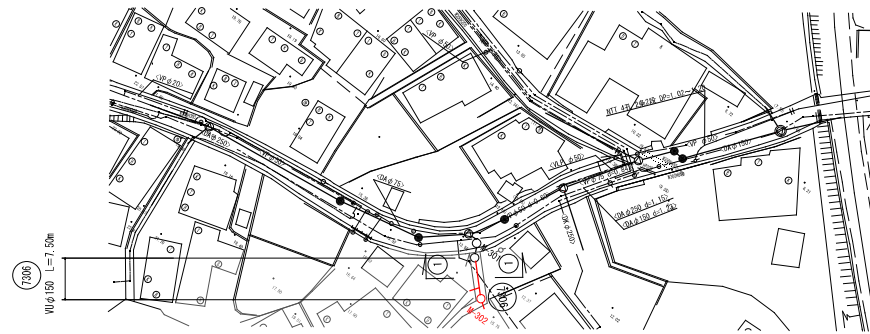


# 工事数量総括表

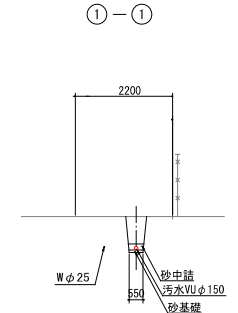
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
表層(歩道部)		m2		6	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		式		1	レベル4
**直接工事費**					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
管内調査費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
**共通仮設費計**					
**純工事費**					
現場管理費					
**工事原価**					
一般管理費率分					
一般管理費計					
**工事価格**					
**消費税相当額**					



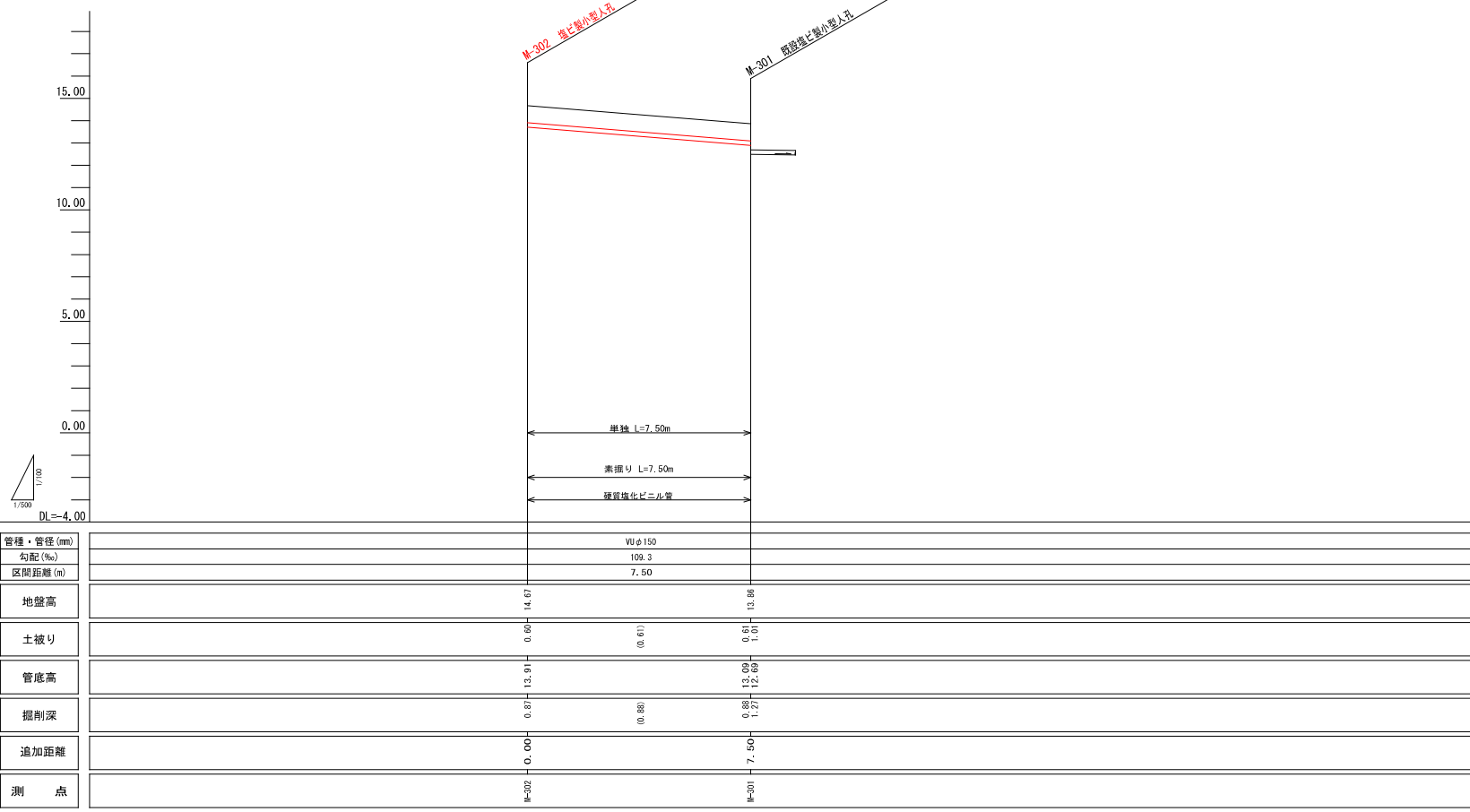
平面図 S=1:500



横断面図 S=1:100



縦断面図 V=1:100  
H=1:500



施工位置図 S=1/2,500



管番号	管径	工法	延長
7306	φ150	開削・埋設	7.50
計			7.50

令和6年度 公共下水道事業（污水）

工事名	和田処理分区分水暫新設工事 (6-1)
工事場所	三原市和田三丁目
図面番号	1 縮尺 図示

平面図・縦断面図・横断面図

三原市

# — 参 考 資 料 —

令和 6 年度

和田处理分区污水管新設工事(6-1)

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-06.05.01(0)		≪凡例≫ Co・・・コンクリート      As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック      BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン      TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	31 下水道工事(2) 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 03 補正しない		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(開削工法)					Y1I01 レベル1
	1	式			
管きよ工(開削)					Y1I0101 レベル2
	1	式			
管路土工					Y1I010101 レベル3
	1	式			
管路掘削					Y1I01010101 レベル4
	1	式			
機械掘削工(小型バックホウ)					SG1D0001001 00
	4	m3			単第0 -0001 表
管路埋戻					Y1I01010102 レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(小型バックホウ) 発生土					SG1D0002002 00
	2	m3			単第0 -0003 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ) 再生砂					SG1D0002002 00
	1	m3			単第0 -0005 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土処理	1	式			Y1I01010103 レベル4
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)	2	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費	2	m3			F0001 00
管布設工	1	式			Y1I010102 レベル3
硬質塩化ビニル管 【φ150】	6.9	m			Y1I01010203 レベル4
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 150mm	6.9	m			SG1D0006001 00 単第0 -0008 表
埋設標識テープ	6.9	m			Y1I01010216 レベル4
埋設標識シート 150×50 2倍	6.9	m			F0002 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管基礎工	1	式			Y1I010103 レベル3
砂基礎	1	m			Y1I01010301 レベル4
砂基礎工(機械施工)	1	m3			SG1D0019002 00
再生砂	1	m3			単第0 -0009 表 T0249 00
開削水替工	1	m3			Y1I010109 レベル3
開削水替	1	式			Y1I01010901 レベル4
ポンプ運転工	2	日			SG1D0042001 00
据付・撤去工	1	現場			単第0 -0010 表 SG1D0042002 00
マンホール工	1	式			単第0 -0012 表 Y1I0102 レベル2



# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
小型マンホール工	1	式			Y1I010203 レベル3
小型マンホール(塩化ビニル製)	1	箇所			Y1I01020301 レベル4
小型マンホール工 (塩化ビニル製) マンホール径300mm 起点および中間形式 深さ2m以下 本管径150mm～200mm	1	箇所			SG1D0057001 00 単第0 -0013 表
小口径鉄蓋(ゲザン入・密閉ロック式) φ300用 T-14	1	個			F0003 00
沈下防止盤 (再生プラスチック) φ300用 T-14	1	個			F0004 00
沈下防止盤 (コンクリート) φ300用 T-14	1	個			F0005 00
本管自在継手 φ300-φ150	2	個			F0006 00
取付管およびます工	1	式			Y1I0104 レベル2
管路土工	1	式			Y1I010401 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路掘削					Y1I01040101レベル4
	1	式			
機械掘削工(小型バックホウ)					SG1D0001001 00
	3	m3			単第0 -0001 表
管路埋戻					Y1I01040102レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(小型バックホウ) 発生土					SG1D0002002 00
	2	m3			単第0 -0003 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ) 再生砂					SG1D0002002 00
	1	m3			単第0 -0005 表
発生土処理					Y1I01040103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)					SG1E0003002 00
	1	m3			単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費					F0001 00
	1	m3			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ます設置工					Y1I010402 レベル3
	1	式			
ます(塩化ビニル製)					Y1I01040202レベル4
	2	箇所			
ます設置工 (塩化ビニル製) ます径 200mm					SG1D0088004 00
	2	箇所			単第0 -0014 表
取付管布設工					Y1I010403 レベル3
	1	式			
取付管(硬質塩化ビニル管)					Y1I01040302レベル4
	1	式			
取付管布設および支管取付工 管径 100mm					SG1D0089002 00
	2	箇所			単第0 -0015 表
付帯工					Y1I0106 レベル2
	1	式			
舗装撤去工					Y1I010601 レベル3
	1	式			
舗装版切断					Y1I01060101レベル4
	27	m			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	27	m			SPK23040306 00  単第0 -0016 表
舗装版破碎(小規模)	27	m2			Y1I01060103レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	27	m2			SPK23040018 00  単第0 -0017 表
殻運搬処理	2	m3			Y1I01060105レベル4
As殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離6.5km以下(5.0km超)	0.2	m3			SPK23040152 00  単第0 -0018 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
As殻受入費	1	t			F0008 00
Co殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	2	m3			SPK23040152 00  単第0 -0019 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
Co殻受入費					F0007 00
舗装復旧工	4	t			Y1I010603 レベル3
不陸整正	1	式			Y1I01060301 レベル4
不陸整正 補足材料無し	11	m2			SPK23040231 00 単第0 -0020 表
下層路盤(歩道部)	10	m2			Y1I01060303 レベル4
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	10	m2			SPK23040233 00 単第0 -0021 表
コンクリート舗装	2	m3			Y1I01060310 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	2	m3			SPK23040154 00 単第0 -0022 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	17	m2			SPK23040156 00 単第0 -0023 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装仮復旧工	1	式			Y1I010604 レベル3
表層(歩道部)	6	m2			Y1I01060409 レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	6	m2			SPK23040244 00 単第0 -0024 表
仮設工	1	式			Y1I0205 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B	3	人			R0369 00
**直接工事費** #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
技術管理費					Z0006

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
管内調査費	1	式			YZZ06001006 レベル4
管路調査工 洗浄・カメラ調査・報告書含む	6.9	m			V0100 00 単第0 -0025 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
*** 共通仮設費計 ***					
*** 純工事費 ***					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
**工事原価**					
一般管理费率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
一般管理費計					
**工事価格**					
**消費税相当額** 計算情報…… 対象額…… 率……					
**工事費計**					







# 施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)  
発生土

SG1D0002002

単第0 -0003 表

頁0 -0015

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
小型バックホウ運転 112_標準型 排1 山積0.08m3(平積0.06m3)	1.754	日			単第0-0002 表 100/57
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.08m3			B=6	材料別途	

# 施工単価表

頁0 -0016

タンパ締固め

SPK23040021

単第0 -0004 表

機械構成比: 1.31% 労務構成比: 96.83% 材料構成比: 1.86% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,487.20000

1

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.31%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.85%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	44.98%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.86%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

# 施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)  
再生砂

SG1D0002002

単第0 -0005 表

頁0 -0017

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.300	m3			
小型バックホウ運転 112_標準型 排1 山積0.08m3(平積0.06m3)	1.754	日			単第0-0002 表 100/57
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.08m3 D=126.3 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			B=2	再生砂	











# 施工単価表

ポンプ運転工

SG1D0042001

単第0 -0010 表

頁0 -0022

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.11	人			
普通作業員	0.05	人			
工事用水中ポンプ損料	1	日			単第0-0011 表
発動発電機 ガソリンエンジン駆動 定格容量3kVA	1	日			
諸雑費	18	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 作業時排水 C=1 ポンプ1台			B=2 D=1	発動発電機 普通型(潜水ポンプ) 口径50mm全揚程5m	











# 施工単価表

頁0 -0028

舗装版切断

SPK23040306

単第0 -0016 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 4.91%

労務構成比:

45.05%

材料構成比: 50.04%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,096.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	3.32%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	15.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	8.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	6.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	47.42%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.77%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009







# 施工単価表

頁0 -0031

As殻運搬  
舗装版破碎  
機械構成比:

SPK23040152

単第0 -0018 表

DID区間有り 運搬距離6.5km以下(5.0km超)

1

m3 当り

19.19% 労務構成比:

71.06%

材料構成比: 9.75%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

5,019.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.19%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.06%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	9.75%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=30 運搬距離6.5km以下(5.0km超)		

# 施工単価表

Co殻運搬

SPK23040152

単第0 -0019 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35%

労務構成比:

42.40%

材料構成比:

15.25%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,941.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

# 施工単価表

頁0 -0033

不陸整正

SPK23040231

単第0 -0020 表

補足材料無し

1

m2 当り

機械構成比: 24.18%

労務構成比: 67.12%

材料構成比: 8.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

118.19000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	11.79%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	9.34%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	3.05%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
運転手(特殊)	42.41%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	8.70%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001



# 施工単価表

頁0 -0035

下層路盤(歩道部)

SPK23040233

単第0 -0021 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.91%

労務構成比: 71.41%

材料構成比: 22.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

746.24000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.06%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.68%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.93%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	25.29%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	14.12%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシュラン 30~0mm	20.42%		再生クラッシュラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPCD0018 TTPT00352
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

# 施工単価表

下層路盤(歩道部)

SPK23040233

単第0 -0021 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.91%

労務構成比:

71.41%

材料構成比:

22.68%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

746.24000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=3 RC-30		
<b>【路盤材単価】</b> 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					



# 施工単価表

頁0 -0037

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0022 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.32%

労務構成比: 37.95%

材料構成比: 57.73%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

29,669.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3, 2011, 2014	4.08%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.41%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(高炉)	55.58%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

型枠 SPK23040156 単第0 -0023 表  
 一般型枠 鉄筋・無筋構造物 1 m2 当り  
 機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 8,890.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.99%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

# 施工単価表

頁0 -0040

表層(歩道部)

SPK23040244

単第0 -0024 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51%

労務構成比: 52.69%

材料構成比: 46.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,776.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.38%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg	0.10%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	23.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	20.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.96%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	46.60%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00023 TTPT00293
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

# 施工単価表

表層(歩道部)

SPK23040244

単第0 -0024 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51%

労務構成比:

52.69%

材料構成比:

46.80%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,776.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					















# 施工単価表

報告書作成工

V0310

単第0 -0031 表

頁0 -0048

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量主任技師 (外業) 管理技師	1.0	人			
測量技師 (外業) 管路調査技師	1.0	人			
測量技師補 (外業) 管路調査助手	1.0	人			
DVD	1	枚			
写真代	1	式			
雑材料	10	%			#01
1m当り		m			
*** 単位当たり ***	1	m			

# — 数量総括表 —

令和 6 年度

和田処理分区污水管新設工事(6-1)

# 塩ビ管管布設工集計表

( 6-1 ) 工区 補(単)

名 称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4				
管路土工	管路掘削 人力							m <sup>3</sup>	
	管路埋戻(発生土) 人力							m <sup>3</sup>	
	管路埋戻(砂) 人力							m <sup>3</sup>	
	発生土処理 人力 2 t車							m <sup>3</sup>	
	管路掘削 BH 0.08 m <sup>3</sup>	3.8					3.8	m <sup>3</sup>	4
	管路埋戻(発生土) BH 0.08 m <sup>3</sup>	1.7					1.7	m <sup>3</sup>	2
	管路埋戻(砂) BH 0.08 m <sup>3</sup>	0.9					0.9	m <sup>3</sup>	1
	発生土処理 BH 0.08 m <sup>3</sup> 2 t車	1.9					1.9	m <sup>3</sup>	2
	管路掘削 BH 0.28 m <sup>3</sup>							m <sup>3</sup>	
	管路埋戻(発生土) BH 0.28 m <sup>3</sup>							m <sup>3</sup>	
	管路埋戻(砂) BH 0.28 m <sup>3</sup>							m <sup>3</sup>	
	発生土処理 BH 0.28 m <sup>3</sup> 4 t車							m <sup>3</sup>	
	管路掘削 BH 0.45 m <sup>3</sup>							m <sup>3</sup>	
	管路埋戻(発生土) BH 0.45 m <sup>3</sup>							m <sup>3</sup>	
	管路埋戻(砂) BH 0.45 m <sup>3</sup>							m <sup>3</sup>	
	発生土処理 BH 0.45 m <sup>3</sup> 10 t車							m <sup>3</sup>	
管基礎工	砂基礎	0.5					0.5	m <sup>3</sup>	1
	砂基礎延長	6.9					6.9	m	6.9
管布設工	路線延長	7.5					7.5	m	7.5
	管体延長	6.9					6.9	m	6.9
	ゴム輪受け口片受直管 φ 150 mm×4.00m	1					1	本	1
	プレーンエンド直管 φ 150 mm×4.00m	1					1	本	1
	可とう継手 φ 200 mm							個	
	自在継手 φ 200 mm							個	
	副管用マンホール継手 φ 200 mm×1.00m							個	
	上流用マンホール継手 φ 200 mm×0.50m							個	
内副管用T字継手 φ 200 mm×1.00m							個		

## 塩ビ管管布設工

素掘り

( 6-1 ) 工区 補 単

管 径  $\phi = 150$  mm

現況表層厚 = 0.07 m

道路幅員 =  m

復旧表層厚 = 0.07 m

現況路盤厚 = 0.10 m

(上下路盤)

掘 削 幅 = 0.55 m

復旧路盤厚 = 0.10 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔減長 m	掘削深 m	※掘削工の選定は、市指針参照。			管延長 m	ゴム輪受け直管 (SRA)	片受け直管 ブレンエンド (PE)	マンホール 可とう継手	自在継手 個	備考 (平均掘削幅)
					掘 削	土	量						
					人	BH	BH	BH					
					力	0.08m <sup>3</sup>	0.28m <sup>3</sup>	0.45m <sup>3</sup>					
					m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>					
7306	M-301	7.50	0.29	0.81		3.8			6.92	4.0	2.92		
	M-302		0.29	0.88									
計		7.50				3.8			6.92	4.0	2.92		

本管	ブレンエンド直管	2.92	÷	4.00	m/本=	1	本						
	ゴム輪受け口片受直管	4.0	÷	4.00	m/本=	1	本						
土	掘削	人力掘削工	人 力		m <sup>3</sup>	合計	発生土埋戻	1.7	砂埋戻	0.9	残 土	1.9	
		機械掘削工	バックホウ	0.08	m <sup>3</sup>	3.8							
		機械掘削工	バックホウ	0.28	m <sup>3</sup>								
		機械掘削工	バックホウ	0.45	m <sup>3</sup>	3.8							
工	埋戻	発生土	V= 3.8 - ( 0.365 × 0.59 ) + 0.10 × 7.50 = 1.7 m <sup>3</sup>					平均掘削深 0.81					
		砂埋戻	V= { (0.265 × 0.60) × 0.785 × 0.165 <sup>2</sup> } × 6.92 = 0.9 m <sup>3</sup>					砂埋戻	基礎工	上幅	0.57	下幅	0.55
		砂基礎工	V= 0.56 × 0.10 × 6.92 = 0.5 m <sup>3</sup>					砂埋戻	基礎工	上幅	0.62	下幅	0.57
		残土	V= 3.8 - ( 1.7 ÷ 0.9 ) = 1.9 m <sup>3</sup>					管廻り埋戻高 = 0.265 管 外 径 = 0.165 砂 埋 戻 高 = 0.365 砂 基 礎 高 = 0.10					

## 塩ビ製小型マンホール 工集計表

( 6-1 )工区 補・単

名 称	形状・寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量	
		No. 1	No. 2	No. 3					
铸铁製防護蓋	φ 428 mm T-14	1				1	組	1	
台座(沈下防止板)	φ 620 mm	1				1	組	1	
塩ビ製内蓋	φ 300 mm	1				1	個	1	
ドロップ用	90° 曲管 φ 200 mm						個		
	段差調整管 φ 100 mm× 4.00 m						m		
							本		
立 管	ド ロ ッ プ φ 300 mm× 4.00 m						m		
	一 般 φ 300 mm× 4.00 m	0.380				0.38	m	0.38	
塩ビ製小型マンホール	KDR φ 300 mm					1	本	1	
	DR φ 300 mm						個		
	90° Y φ 300 mm						個		
	90WY φ 300 mm						個		
	WLS φ 300 mm						個		
	45° Y φ 300 mm						個		
	90° φ 300 mm						個		
	60° φ 300 mm						個		
	45° φ 300 mm						個		
	30° φ 300 mm						個		
	15° φ 300 mm						個		
	ST φ 300 mm						個		
	KT φ 300 mm		1				1	個	1
	塩ビ製小口径マンホール用継手	2				2	個	2	
削 孔	VU 100 mm						箇所		
	VU 150 mm						箇所		
	VU 200 mm						箇所		



塩ビ製小型マンホール設置工 No.1

( 6-1 )工区 補(単)

路線名	人孔番号	人孔深	流出管			流入管			異径ツット	防護蓋	台座	内蓋	DR用 φ 150		立管 φ 300		塩ビ製小型マンホール																						
			管種	管径	管底高	管種	管径	管底高					調整管	90° 曲管	一般	DR用	φ - 300																						
																	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個						
7306	M-302	0.760	VU	150	13.910					1	1	1			0.380		1																						
	M-301		VU	150	13.090																																		
計							削孔	VU100		200×150						0.380		1																					
								VU150																															
								VU200																															

取付管工集計表

( 6-1 )工区 補単

名称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2	No. 3					
取付管工	取付管箇所	2					2	箇所	2
	取付管延長	6.00					6.00	m	6.0
	平均取付管延長						3.00	m	3.0
	プレーンエンド直管 φ100×4.00m	5.26					5.26	m	5.3
							2	本	2
	90° 可とう支管 φ100	1					1	個	1
	60° 曲管 φ100 mm	1					1	個	1
	30° 曲管 φ100 mm							個	
	SRB片受直管 φ100×0.80m	1					1	個	1
	塩ビ製人孔用支管 φ100×300mm							個	
	可とうマンホール継手 φ100	1					1	個	1
	自在管 φ100	2					2	個	2
	本管接続	1					1	箇所	1
	マンホール接続	1					1	箇所	1
	塩ビ製マンホール接続							箇所	
土工	人力掘削							m <sup>3</sup>	
	機械掘削 BH 0.08 m <sup>3</sup>	2.8					2.8	m <sup>3</sup>	3
	発生土埋戻し 人力							m <sup>3</sup>	
	” BH 0.08 m <sup>3</sup>	2					2	m <sup>3</sup>	2
	砂埋戻し・砂基礎 人力							m <sup>3</sup>	
	” BH 0.08 m <sup>3</sup>	0.7					1	m <sup>3</sup>	1
	残土処分 BH 0.08 m <sup>3</sup> 2t車	0.6					1	m <sup>3</sup>	1
ます設置工	塩ビ製柵 φ 200 mm 1.5 m以下	2					2	箇所	2
	铸铁製防護蓋 φ 200 mm用							箇所	
	塩ビ製密閉蓋 φ 200 mm用	2					2	箇所	2

取付管工(No.1)

( 6-1 )工区 補単

(現況舗装構成)

舗装表層 = 0.07 m  
 上層路盤 = m  
 下層路盤 = 0.10 m

道路幅員 = ~ m  
 本管掘削幅 = m  
 取付管掘削 = 0.55 m

(復旧舗装構成)

舗装表層厚 = 0.07 m  
 上層路盤厚 = m  
 下層路盤厚 = 0.10 m  
 φ 100 mm

路線名	数量	取付管延長		本管土被	a	b	掘削延長	掘削土量	本管接続	人孔接続	塩ビ人孔接続	塩ビ人孔用支管	可とう支管	曲管	PE直管	S	R	樹設置工	鋳鉄製防護蓋	塩ビ製密閉蓋		
		箇所	箇所×延長		小計	m															m	m
7306	右	1	1× 3.00	3.00	1.00	0.90	0.63	3.00- (0.37 ×1)=	2.63	1.4	1			1	1	2.63	1	1			1	
	左	1	1× 3.00	3.00	1.00	0.90	0.63	3.00- (0.37 ×1)=	2.63	1.4	1					2.63			1		1	
	右																					
	左																					
	右																					
	左																					
	右																					
	左																					
	右																					
	左																					
	右																					
	左																					
	右																					
	左																					
	右																					
	左																					
計	2			6.00					5.26	2.8	箇所1	箇所1	箇所	ケ1	ケ1	ケ1	m 5.26	ケ1	箇所2	箇所	2	
配管延長							m	6.00														m
							ブレーション直管													m		
掘削	人力						m <sup>3</sup>	発生土埋戻	2.8-(0.575×0.25×5.26)													m <sup>3</sup>
	BH0.08m <sup>3</sup>						m <sup>3</sup>	砂・砂基礎埋戻	(0.575×0.25-0.15 <sup>2</sup> ×2×0.785)×5.26													m <sup>3</sup>
残土		2.8-(2.0÷0.9)					m <sup>3</sup>	0.6	自在管φ100													個
																				2		

付 帯 工 集 計 表

( 6-1 ) 工 区 補 単

名 称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2	取付管	No. 4				
	アスファルト切断工	t=15cmまで						m	
	舗装撤去工	(As)	5.7				5.7	m <sup>2</sup>	6
	舗装殻処分工	(As)	0.2				0.2	m <sup>3</sup>	0.2
	仮舗装工	(As)	5.7				5.7	m <sup>2</sup>	6
	本舗装復旧工(全面幅)	密粒度As t=5cm						m <sup>2</sup>	
	上層路盤工	粒調碎石 t=12cm						m <sup>2</sup>	
	下層路盤工	再生切込碎石 t=10cm						m <sup>2</sup>	
	不陸整正		10.8				10.8	m <sup>2</sup>	11
	セメントコンクリート切断工		15.0		12.0		27.0	m	27
	舗装撤去工	(Co)	16.5	4.3			20.8	m <sup>2</sup>	21
	舗装撤去工	(Co+As)	22.2	4.3			26.5	m <sup>2</sup>	27
	舗装殻処分工	(Co)	1.2	0.3			1.5	m <sup>3</sup>	2
	舗装復旧工		1.2	0.3			1.5	m <sup>3</sup>	2
	路盤工	再生切込碎石 t=10cm	5.7	4.3			10.0	m <sup>2</sup>	10
	型枠		16.5				16.5	m <sup>2</sup>	17

塩ビ管管布設付帯工

( 6-1 )工区 補単

現況表層厚 = 0.07m 道路幅員 = m 復旧表層厚 = 0.07m  
 現況路盤厚 = 0.10m 掘削幅 = 0.55m 復旧路盤厚 = 0.10m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切断工 (セメントコンクリート)		路盤工		表層工	
				t= 7 cm	m	t= 10 cm A=掘削幅×延長	m <sup>2</sup>	t= 7 cm A=復旧幅×延長	m <sup>2</sup>
7306	M-301	7.50	0.81	7.50×2=	15.00	0.76×7.50=	5.7	2.20×7.50=	16.5
	計	7.50			15.00		5.7		16.5

セメントコンクリート切断工	15.00 m
舗装撤去工 (Co)	16.5 m <sup>2</sup>
舗装殻処分工 t= 7 cm= 16.5 × 0.07 =	1.2 m <sup>3</sup>
仮舗装工	5.7 m <sup>2</sup>
仮舗装撤去	5.7 m <sup>2</sup>
仮舗装殻処分工 t= 3 cm= 5.7 × 0.03 =	0.2 m <sup>3</sup>
舗装復旧工 t= 7 cm	1.2 m <sup>3</sup>
型枠工	16.5 m <sup>2</sup>
路盤工 t= 10 cm 再生切込砕石	5.7 m <sup>2</sup>
不陸修正	16.5 - 5.7 = 10.8 m <sup>2</sup>

取付管布設付帯工集計表(No.3)

( 6-1 )工区 補(単)

名称	形状・寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量
付帯工	舗装切断工(As) t≦20cm						m	
	舗装切断工(Co) t≦20cm	12.0				12.0	m	12
	舗装版破碎工(As) t=10cm以下(現況)						m <sup>2</sup>	
	” t=10cm以下(仮舗)						m <sup>2</sup>	
	舗装版破碎工(Co) t=7cm以下(現況)	4.32				4.32	m <sup>2</sup>	4
	殻運搬処理(As) (現況)						m <sup>3</sup>	
	” (仮舗)						m <sup>3</sup>	
	殻運搬処理(Co) (現況)	0.30				0.30	m <sup>3</sup>	0.3
	表層工(本舗装) 再生密粒度アスコン t= 5 cm						m <sup>2</sup>	
	表層工(仮舗装) 再生粗粒度アスコン t= 3 cm						m <sup>2</sup>	
	表層工(本舗装) セメントコンクリート t= 7 cm	0.30				0.30	m <sup>3</sup>	0.3
	下層路盤工(車道) 再生切込砕石 t= 10 cm						m <sup>2</sup>	
	上層路盤工(車道) 粒調砕石 t= 12 cm						m <sup>2</sup>	
	路盤工(車道) 再生切込砕石 t= 10 cm	4.3				4.3	m <sup>2</sup>	4

取付管布設付帯工(No.3)

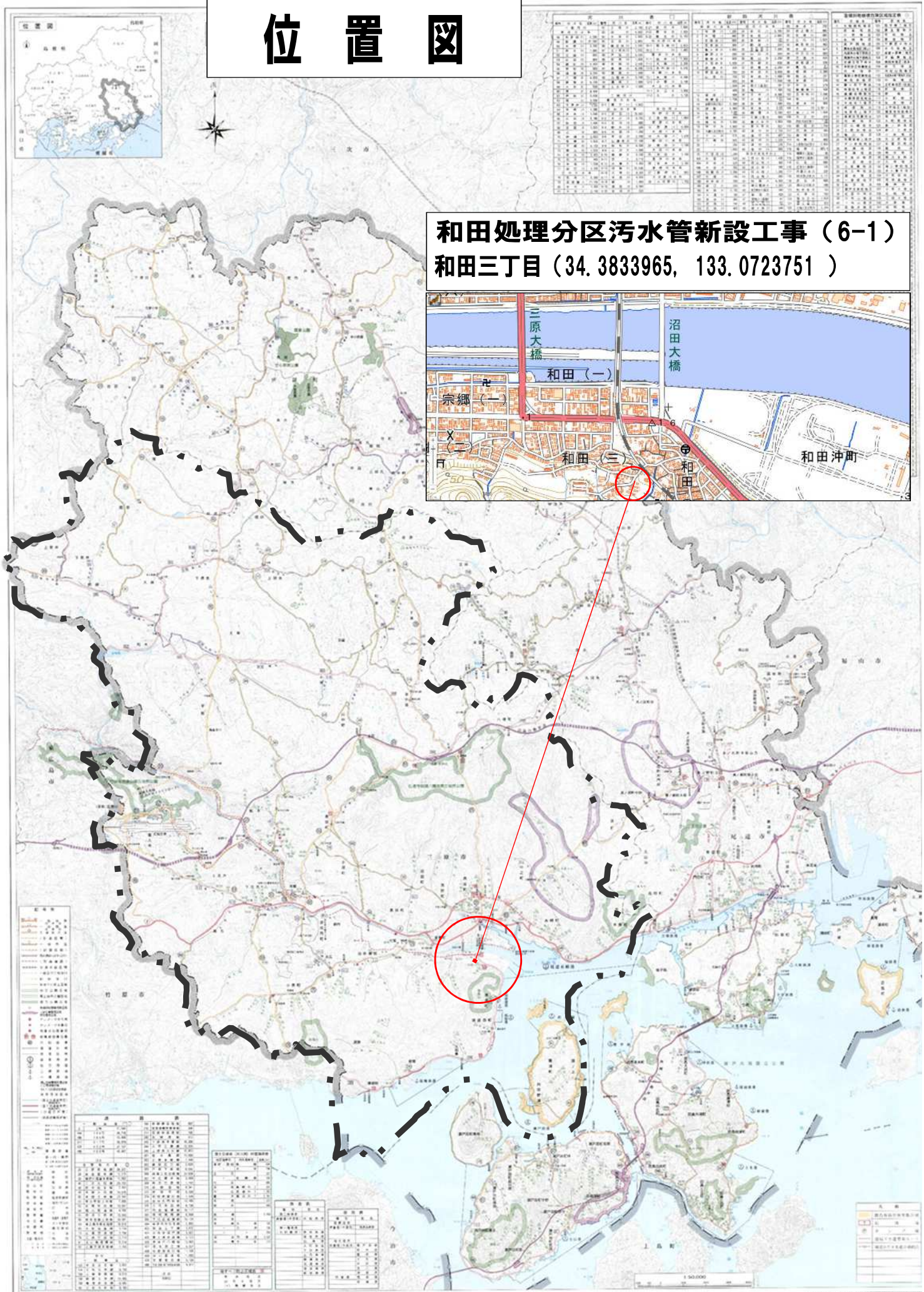
補・単

現況表層厚 = 0.07 m 道路幅員 = m 復旧表層厚 = 0.07 m  
 現況路盤厚 = m 掘削幅 = m 復旧路盤厚 = 0.10 m

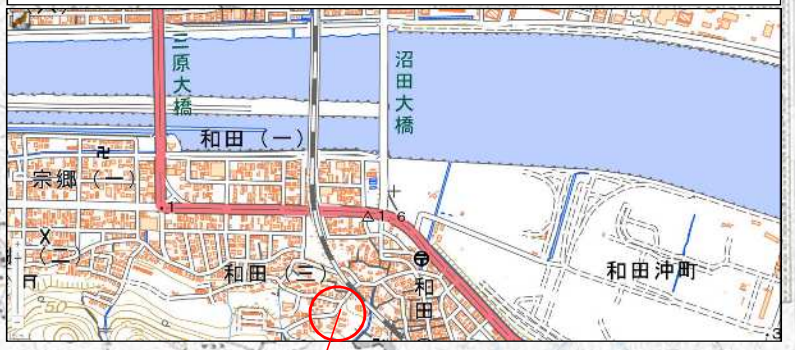
路線名	人孔番号	舗装延長 (m)	本管掘削幅 (m)	掘削深 (m)	取付箇所	舗装切断工 (コンクリート)		路盤工		表層工	
						t= 7 cm	m	t= 10 cm A=掘削幅×延長	m <sup>2</sup>	t= 7 cm	m <sup>3</sup>
7306		3.00	0.60	0.83	1	3.00×2=	6.00	0.72×3.00=	2.16	0.72×3.0×0.07=	0.15
		3.00	0.60	0.83	1	3.00×2=	6.00	0.72×3.00=	2.16	0.72×3.0×0.07=	0.15
	計						12.00		4.32		0.3

(アスファルト)											
アスファルト切断						15 cm	12.00 m				
上層路盤工						12 cm	粒調碎石		m <sup>2</sup>		
路盤工						10 cm	再生切込碎石		4.3 m <sup>2</sup>		
仮舗装工						cm	m <sup>2</sup>				
仮舗装撤去						m <sup>2</sup>					
仮舗装処分工						t= cm=	×	=	m <sup>3</sup>		

# 位置图



**和田处理分区污水管新設工事 (6-1)**  
**和田三丁目 (34. 3833965, 133. 0723751 )**



項目	説明
1	河川
2	道路
3	境界
4	地籍
5	地質
6	地層
7	地盤
8	地中
9	地中
10	地中

項目	説明
1	河川
2	道路
3	境界
4	地籍
5	地質
6	地層
7	地盤
8	地中
9	地中
10	地中

項目	説明
1	河川
2	道路
3	境界
4	地籍
5	地質
6	地層
7	地盤
8	地中
9	地中
10	地中

項目	説明
1	河川
2	道路
3	境界
4	地籍
5	地質
6	地層
7	地盤
8	地中
9	地中
10	地中

項目	説明
1	河川
2	道路
3	境界
4	地籍
5	地質
6	地層
7	地盤
8	地中
9	地中
10	地中

項目	説明
1	河川
2	道路
3	境界
4	地籍
5	地質
6	地層
7	地盤
8	地中
9	地中
10	地中

項目	説明
1	河川
2	道路
3	境界
4	地籍
5	地質
6	地層
7	地盤
8	地中
9	地中
10	地中

項目	説明
1	河川
2	道路
3	境界
4	地籍
5	地質
6	地層
7	地盤
8	地中
9	地中
10	地中

項目	説明
1	河川
2	道路
3	境界
4	地籍
5	地質
6	地層
7	地盤
8	地中
9	地中
10	地中